

My City Kawaguchi マイシティかわぐち



発電機・投光器訓練



応急給水システム組立訓練

11/6日 川口市総合防災訓練

青木・上青木・前川地区の小・中学校など12会場で実施。大地震の後に電気、ガス、水道などのライフラインが遮断されたという想定のもと、住民が主体の実践的な訓練が行われました。



プラスフェスタ2016

11/6日 第9回かわぐち音楽の日

リリアで開催。平成20年に「かわぐち音楽の日」と定められた11月第1日曜日にあたるこの日、市内5小学校の金管バンドによる合同演奏会・プラスフェスタ2016や音楽のびっくり箱などたくさんの音楽イベントが行われました。

プラスフェスタ出場校：上青木小学校、元郷小学校、舟戸小学校、前川東小学校、根岸小学校



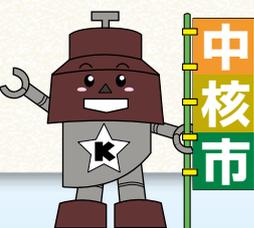
音楽のびっくり箱



10/30日

荒川ふれあいまつり2016

荒川河川敷の浮間ゴルフ場を開放し開催。食品ブースの出店や子ども向けの催しイベントなどが行われ、多くの来場者でにぎわいました。



みんなでつくる 川口の元気

vol.26

みなさん、こんにちは。

早いもので師走を迎えました。今年最後の1カ月を元気にお過ごしいただきたいと思います。

今回は、歯・口の健康についてお話したいと思います。私たちが生きていくためには、言うまでもなく食べることが必要です。食べるためになくてはならないものが「歯」です。近年、歯・口の健康状態が全身の健康と密接に関係していることが明らかになっており、残っている歯の本数が多い人ほど寿命が長くなるという調査結果もあります。

こうした背景から、私は県議会議員時代から歯・口の健康に積極的に取り組み、平成23年には議員提案による「埼玉県歯科口腔保健の推進に関する条例」の制定に力を注ぎ、翌年には本市でも同様の条例が施行されました。市条例では特に、全国的な「8020(ハチマルニイマル)運動(80歳で20本以上自分の歯を保つ)」に加え、「6525(ローゴニコニコ)運動(65歳で25本以上自分の歯を保つ)」を掲げ、早期からの歯・口の健康づくりを推進しています。

本市では、正しい歯科保健知識の普及啓発を行い、生涯を通じた口腔保健の向上を図るため、毎年6月に「川口市歯の健康フェスティバル」を開催しています。また、虫歯や歯周病を予防するために、30歳以上のかたを対象とした「成人歯科健康診査・歯科ドック」のほか、今年度からは小学校でのフッ化物洗口を実施しています。こうしたさまざまな歯科口腔保健の取り組みを川口歯科医師会のご協力をいただき推進しています。

しかし、「成人歯科健康診査・歯科ドック」の受診率は残念ながら高いとはいええない状況にあります。歯は全身の健康の原点です。ぜひ積極的に受診して健康寿命を延ばし、元気に暮らしていきましょう。

「成人歯科健康診査・歯科ドック」を積極的に受診しましょう

川口市長 奥ノ本信夫

6月5日の歯の健康フェスティバル



10/23(日) 文化三賞

フレンドシアで開催。文化芸術の振興に貢献されたかたがたに文化賞、芸術奨励賞、芸術功労賞、青少年文化活動奨励賞が贈られました。(受賞者は5ページに掲載)



11/5(土)・6(日)

第25回 緑と大地の豊年まつり

植物取引センターと川口緑化センターで開催。会場では地元野菜や植木・鉢花の販売、模擬店、ステージイベントなどが実施され、来場者は楽しいひとときを過ごしました。